



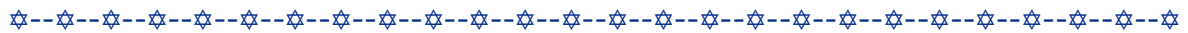
ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/06/01

いまだ聞けないウクライナ戦争シリーズ #3

日本の相似形ウクライナ、応援せよ！

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日も一つアナウンスをさせていただきます。
私の友人に、ずっと漫画を描き続けている人がいます。
オオシロ タクト/大城 TED さん。多摩美術大学（ユーミンが出ましたね）、あの多摩美を出て漫画家を目指し、集英社に持ち込みを続けていました。

集英社は少年漫画の王者『少年ジャンプ』を発行していましたが、当時『ジャンプ改(かい)』という新人を発掘する雑誌がありました。
彼はその編集者の目に留まり、担当が付き、非常に有望視されたんです。
次々漫画の題材を掘り起こして、より魅力的な作品を作ろう。
その題材として聖書の世界はどうか、と思い立ったんですね。

その時、彼はクリスチャンではありません。クリスチャンになるつもりもない。
あくまでもネタの一つとして、聖書の世界を発掘してみるの面白いのではないか。
しかし、聖書を自分で読んでいるだけでは、聖書の世界が正しく分からない。
そこで、近所の教会に通い出したんですね。クリスチャンから聖書入門の手ほどきを受け、説明を聞いているうちに、福音が心の中に入って来たんです。

そして、最初の志とは違って、本当にクリスチャンになってしまうんですね。
私のために神が命をかけてイエス・キリストを差し出して、私の罪のためにいけにえにしてくださった。この驚くべき物語に彼は感動し、とうとうクリスチャンになってしまったのです。

集英社は Web 上に、少年ジャンプ主催の雑誌の投稿サイトを作っていました。
今も見ることができます。『少年ジャンプルーキー！』というサイトです。
彼はそこに投稿して固定ファンを掴むんです。
一部すごく評価が上がって来たのですが、ここで葛藤があるんですね。

クリスチャンになった。罪が赦された。それは彼の人生に大きな喜びと平安を与えたのですが、同時に、漫画家としては葛藤を生む原因になったのです。
商業雑誌が求めている世界観と、聖書が語っている世界観が衝突するんですね。
やはり、ノンクリスチャンの世界でみんなに受けるネタを描いていくのは、中には聖書の世界観と真っ向から対立する内容にならざるを得ない。
自分の良心を殺して、それを描き続けるのか。
良心に基いて、それをやめてしまうのか。

大葛藤の末、彼は一旦撤退します。しかし、実際に作品を発表し、固定ファンが付き、作品を生み出していく味を知った人は、やはりやめられない。

彼は年を経た後もう一度、漫画という手段を使って、日本に聖書の価値観を伝えることができないか模索するようになりました。

そうして、インターネットの note というサイトに『イブキちゃんの聖書入門』という四コマ漫画を連載するようになったんです。

四コマ漫画ですが、漫画の後に文章が続き、それが聖書入門になってるんですね。聖書入門だけならほとんどの人は見ない。

特に若者は「聖書？そんな宗教カタイ。堅苦しい。いらん。」

だけど、まず四コマ漫画で面白そうだなと。入り口がとっつき易いんですね。

あらゆる文章の1行目の目的は、2行目を読んでもらうことです。

2行目の目的は、3行目を読んでもらうことだと私は考えます。

どんなに内容が良くても、1行目から面白くなかったら、2行目も3行目も、そして最後まで読んでもらえません。

しかし、1行目2行目3行目、初めの取っ掛かりが興味深かったら、ついつい引き込まれて、一番言いたいところに引き出されて来ることがあるんです。

『イブキちゃんの聖書入門』はついつい巻き込まれて、「ほほう、どんなもんかいな」と読んでみたくなる作品ですので、まずは一度ご覧になってください。

note の『イブキちゃんの聖書入門／大城 TED』、インターネットで検索するとすぐ出て来るので、まずはご覧になって、いいなと思ったら応援してやってください。具体的に応援したい方がおられたら本当に感謝です。彼にその旨連絡してあげたら、本当に素晴らしいなと思います。ということで、一つよろしくお願いします。

さて、いよいよウクライナの反転攻勢が始まろうとしています。

反転攻勢は、単に反撃するというものではありません。

ロシアに占領されたところを取り戻す攻撃のことです。

なぜこれが近々始まると分かるのか。ウクライナ政府が発表しているからです。

普通 戦争の攻撃は「やるよー！」とみんなに呼び掛けてからやるよりも、極々内密にして不意打ちするのが一番いいと思いますが、ウクライナは今回「やります！」と言ってますね。

占領地の中で、多くのウクライナ国民が傷ついているんです。

いつ援軍が来るのか、いつ我が国軍が救出に来るのかと首を長くして待っている。

そんな国民を鼓舞するため、希望を与えるために、そう呼び掛けているのでしょう。

ところで、ロシアもウクライナも、全く妥協の余地がないんですね。

ロシアのプーチンは、なぜこの戦争に妥協の余地がないのか。

前回お話ししたように、この戦争の直接の動機が、プーチンの妄想的世界観にあるからです。

よく “ウクライナを NATO に入れたいため” “ウクライナをロシアと西側世界のバッファーゾーンにするため” “ウクライナの地下資源を確保するため” とか。

もちろんそれぞれの理由はありますが、二の次の問題です。
一番根本的な原因じゃないです。それらは全部二の次の話です。

一番の原因はプーチンの歴史観。妄想的歴史観。情念・執念・妄念・パトス。
なので、話し合いでどうこう出来る問題じゃないんです。
これはプーチン自身の歴史観に由来するので、どんなことがあっても諦めません。

それに対して、ウクライナは全く妥協がない。
その理由はいくつかありますが、一つは妥協したって平和が来ないから。
戦争が始まって間もない時、元大阪市長がウクライナの国際政治学者に向かって、
「なんで抵抗するんだ。抵抗するから無駄な血が流れるんでしょ。抵抗をやめて支配されても、プーチンは10年もすれば死んでしまうんだから、それから取り戻したらいいじゃないか」みたいなノンキなことをね！言うてましたが。

無条件降伏して、或いは妥協して支配下に入った時、平和が来るでしょうか。
ロシア軍が昨年2月24日ウクライナを侵略した当初、迫害されているとかの因縁を付けていた東部を狙うんじゃなくて、首都キーウを狙ったじゃないですか。
当時キエフと言っていました。

キーウの北方にブチャがあります。ウクライナ軍が頑張ったのでロシア軍は撤退しましたが、ブチャで何があったのか。おっそろしい光景が繰り広げられてたんです。
ただ歩いてるだけの民間人が無差別に殺され、後ろ手に縛られたまま遺体になっている体が、道路のあちらこちらに散乱している。
女性はみなレイプされた上で殺され、中には10歳未満の女の子の性器が破れてるんですよ。そういう死体もいくつか発見されて。

しかもこれは、単に個人的な戦争犯罪で起こったのではない可能性が高いんです。
というのは、ウクライナはロシアの通信を傍受してたんです。
傍受記録の中に、司令官が部下の兵隊たちに「民間人を始末しろ」と命令しているのが、ちゃんとキャッチされてるんですね。
しかも、同じことがブチャ以外でも行われている。数千人が殺されています。
つまり、計画性があり組織的である、という意味ですよ。

プーチンの支配下に入った時、彼に徹底的に逆らったウクライナ国民に「ああ、昔のことだ。水に流そう。」プーチンが言うと思いますか。
甘いと言わざるを得ません。

過去のロシア軍やソ連軍の行動パターンを見ていくと、たとえ国際紛争が解決したとしても、その中で生き地獄が始まるのは火を見るよりも明らかです。
ですから、徹底抗戦するのは当たり前です。
ここで負けるというのは、自らを死に追いやるとイコールなんですね。

ロシアの動きについて、どういうわけかそれを支持する方がいますね。

ごうちゃんねるのコメント欄にも「ロシアが南下政策を取るのは当たり前だ。不凍港を求めてどれだけ苦労して来たか」と。

なんで、そんなロシアの肩持つんかと思うんですけど。

ロシアの肩を持つ意見もね、何を言っても自由なんですけど、一つ覚えていなければならぬのは、侵略したのはロシア、侵略されたのはウクライナ。この事実です。

この事実はどんな屁理屈によっても覆りません。

侵略した時点で、侵略した方がアウトなんです。

まともな論理では侵略した側を肯定できないので、肯定するために引っ張り出されるのが DS や陰謀論。それでは世界は読めません。

第一、侵略側を肯定することは、日本の身に降りかかって来るんじゃないですか。だって、自分の屁理屈に基いて「他の国を侵略する」と公言している国が、日本のすぐ隣にいるじゃありませんか。

ロシアの侵略を肯定することは、同じ論理ならば中国の侵略を認めることであり、それは取りも直さず、台湾侵略や日本侵略を容認することに繋がるのではないでしょうか。

私はそんな個人独裁の支配下に入るのは真っ平ごめんですね。

そんなんなったら、ごうちゃんねる、絶対出来ませんよ。

真っ先に消されてしまうんじゃないですか。

こんなことの中で、私たちは正気に返って、出来ることをしなければなりません。どうしたらいいんでしょう。

昔 自衛隊の隊員募集ポスターにこうありました。

【だれよりも強くなる。だれからも攻め込まれないために。】 これに尽きます。

日本は強くなる必要があります。軍事的にも強くなる必要があります。

それは侵略するためではありません。侵略されないためです。

侵略の意志を持っている国に「今はやめておこうか」と思わせるためです。

その意味で、日本は自分に出来ることから手を付けるべきですし、その一つがウクライナを支援することだと思います。

ウクライナを支援することで、「侵略については NO なんだ！」という意志表示を世界に向けて、取り分け、侵略の意志を持っている国々に対して、ハッキリ示すことになるからです。

さて、[いまさら聞けないウクライナ戦争シリーズ](#)、まだまだお話ししたいことがありますので、よろしければこれからもご覧ください。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。

皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！